

# 患話休題

かんわきゅうたい

74



院長 真崎 雅和



## 変異ウイルスとワクチン

7月に入ってから東京都では新規感染者が増加していますが、その原因の1つとして変異ウイルスがあげられます。

ウイルスは自らの遺伝情報は持っていますが、自力で増えることはできません。遺伝情報を設計図として感染した細胞に持ち込み、その細胞を工場のように使って新たなウイルスを組み立てて細胞から出ていきます。これを繰り返すことで体内のウイルスが増えていきます。この過程でウイルスの遺伝情報もコピーされますが、コピーミスが起こることがあり、これが変異ウイルスとなります。

実際にはウイルスの変異は常に起こっており、新型コロナウイルスでは約2週間に1個の頻度で確認されています。すでに多数の変異ウイルスが存在していますが、これらのリスクを分析して、感染性や重篤度が増すワクチン効果を弱めるなど性質が変化した可能性のあるものを「懸念される変異株」、感染性や重篤度・ワクチン効果などに影響を与える可能性があるものを「注目すべき変異株」に分類しています。

変異株の呼称には初めて見つかった国名を使っています。現在はギリシャ文字に変更され、イギリス由来のものはアルファ株、インド由来のものはデルタ株となりました。どちらも「懸念される変異株」に分類されています。

イギリスではすでにデルタ株に置き換わり、アメ

リカでもデルタ株が急速に増加しています。日本では第4波以降、アルファ株が主流になっていました。現在はデルタ株が増加しつつあります。おそらくこのままアルファ株からデルタ株に置き換わっていくでしょう。

アルファ株は従来のウイルスよりも感染力が強く、重症化のリスクも高くなりました。デルタ株はアルファ株よりもさらに感染力、重症化リスクが上がっており、今後は若い世代でも重症者が増加する可能性があります。

ワクチンの効果はどうでしょう。従来型のウイルスに対する感染予防効果や発症予防効果は80〜90%でしたが、デルタ株に対しては60〜80%に低下しています。しかし、重症化予防効果は90%以上に保たれているようです。つまり、デルタ株に感染・発症することはあっても、ワクチン接種者では重症化はしにくいというワクチンの効果は維持されています。

デルタ株では1つの密でも感染リスクが上がっているようです。感染予防対策は基本的には変わりませんが、今まで以上にしっかりと行う必要はあるでしょう。秋田県でもワクチン接種対象が徐々に拡大されています。デルタ株にも効果はありますので、接種できる機会がきましたらご検討ください。



診察時間が近づいたことをお知らせする

約30分前  
**メールサービス**を

ご利用ください。  
ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

**真崎耳鼻咽喉科医院**

TEL.018-845-0234

FAX.018-847-1321  
秋田市土崎港中央6-8-3